

**東海第二発電所 雑固体減容処理設備冷却室内における
溶融金属等の飛散に伴う発煙について（その2）**

当社、東海第二発電所は定格熱出力一定運転中（沸騰水型軽水炉：定格電気出力110万ワット）のところ、本日、6時35分ごろ、増強廃棄物処理建屋（発電所構内）雑固体減容処理設備冷却室内で発煙が確認されました。6時46分に消防署へ通報するとともに、自衛消防隊及び6時55分ごろに到着した公設消防隊による確認が継続されています。発煙の原因は調査中です。また、当室内は、負圧維持及び耐火構造になっているので、外部に影響を与えるものではありません。

（10月10日お知らせ済み）

その後、9時56分に冷却室内の煙が消えているのを確認しております。

また、15時25分公設消防署により、火災ではないと判断されました。

今後、冷却室内温度が下がるのを待って現場確認を行なう予定です。

引き続き、消防署等と協力しながら、発煙の原因などの調査を行なって参ります。

発電所の状況は以下のとおりです。

1. 原子炉施設等の状況

- ・ 現在、定格熱出力一定運転中で発電を継続中です。
- ・ 増強廃棄物処理建屋は、原子炉の運転に影響を与えない設備であることから、安全に運転を継続しています。

2. 周辺環境への放射能の影響

- ・ 放射能の漏えい等は発生しておりません。
- ・ モニタリングポストなど、環境放射線モニターの指示の変化はなく、外部への放射能の影響はありません。
- ・ 今後も引き続き監視してまいります。

以 上

添付：雑固体減容処理設備の概要

雑固体減容処理設備の概要

